

平成 29 年度 GN グループ B4 新人研修課題 報告書

2017 年 4 月 21 日
乃村研究室 山本 瑛治

1 概要

本資料は平成 29 年度 GN グループ B4 新人研修課題の報告書である．課題では SlackBot プログラムを作成した．SlackBot プログラムがもつ機能として任意の文字列を発言する機能と Slack 以外のサービスと連携する機能がある．

本資料では，課題内容，課題を通して理解できなかった部分，課題の中で作成できなかった機能，課題として自主的に作成した機能について述べる．なお本資料において発言とはチャットツールである Slack[1] の特定のチャンネル上で発言すること，または発言そのものを指す．

2 課題内容

課題内容は，Ruby による SlackBot プログラムの作成である．SlackBot プログラムとは Slack に発言したり，Slack 上の発言を契機に，何らかの処理を行ったりするプログラムである．課題として，以下の 2 つの機能を SlackBot プログラムに実装する．

(1) Slack の特定の発言に対する返信機能

Slack の発言を取得し，特定の発言に対して返信を行う機能である．具体的には，OutgoingWebHooks を利用して発言を取得し，取得した発言を基に IncomingWebHooks を利用して発言する．たとえば，SlackBot の取得した発言中に "「こんにちは」と言って" という文字列が存在する場合，「」内に含まれる "こんにちは" という文字列を発言する．ここで「」内は "こんにちは" だけでなく，任意の文字列でも良い．

(2) Slack 以外のサービスと連携する機能

WebAPI や WebHooks を経由して他サービスの情報を取得し，取得した情報を利用して発言する機能である．もしくは，WebAPI や WebHooks を経由して Slack の情報を他サービスに送信する機能である．たとえば，Slack 上の発言を契機にして他サービスから今日の天気や予定の情報を取得し，取得した情報を利用して発言する．

本課題における Ruby のバージョンは，2.1.5 である．

3 理解できなかった部分

- (1) Net::HTTP.start メソッドの挙動と引数

4 作成できなかった機能

作成できなかった機能を以下に示す．

- (1) 設定した Outgoing WebHooks 以外からの POST を拒否する機能
- (2) 国名コードを利用して国名を表示する機能

Wikipedia では記念日の項目中で国名を表示している箇所がある．この国名の表示には国を一意に識別できる国コードを利用している．今回作成した SlackBot プログラムは国コードと国名の対応表をもっていない．そのため国コードから国名を表示できない．本機能を実装できれば，Wikipedia と同様に国名を表示できる．

5 自主的に作成した機能

以下の機能を自主的に作成した．

- (1) 指定された日付に関する記念日・年中行事を発言する機能

参考文献

- [1] Slack: Slack: Where work happens, Slack (online), available from <https://slack.com/> (accessed 2017-04-17).